

===== 2014.3.7

NPO 法人東京高次脳機能障害協議会(TKK) — <http://www.brain-tkk.com/>

**T | K | K | メ | ル | マ | ガ | vol.27**

.....



～目次～

- 【1】TKK活動
- 【2】関連団体の活動
- 【3】行政等の活動
- 【4】特集：この1年の活動を振り返って（TKK加盟団体）

.....

【1】TKK活動

\*\*

○TKK相談支援員のための研修会

テーマ：高次脳機能障害と軽度外傷性脳損傷について

3月16日(日)11:00～12:15、東京都心身障害者福祉センター

<医療及び家族相談交流会>

[http://www.brain-tkk.com/index/show\\_information.php?boardAct=view&readNum=91](http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=91)

●第8回2014年1月19日(日)すみだ産業会館(錦糸町駅)

●第9回：2月16日(日)慈恵会医科大学附属第3病院

○第10回：3月16日(日)東京都心身障害者福祉センター

(時間はいずれも13:30～16:30)

○<2014年度 TKK主催：実践的アプローチ講習会(全3回)>

来年度も昨年同様、講習会を年3回開催します。

第1回 5月18日(日)、第2回8月24日(日)、第3回12月7日(日)、

昨年同様、東京慈恵会医科大学西新橋校での開催です。

◎ 3回分一括の受講を先行して申込み場合、3月1日(土)～3月31日(月)の1ヶ月間です。

◎ 第1回5月18日(日)のみ受講の場合、申込み期間は、4月14日(月)～5月2日(金)

◎ 第2回8月24日(日)のみ受講の場合、申込み期間は、7月14日(月)～8月8日(金)

◎ 第3回12月7日(日)のみ受講の場合、申込み期間は、10月27日(月)～11月21日(金)

以上は、Eメール:tkkapproach@gmail.com のアドレスへお申し込みください。

各回のプログラム、申込み期間や方法などの詳細については、以下のサイトでもご確認できます。

TKK 情報専用サイト <http://www7b.biglobe.ne.jp/~brain-link/tkk.html>

TKK ホームページ

[http://www.brain-tkk.com/index/show\\_information.php?boardAct=view&readNum=100](http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=100)

お問い合わせは、東京高次脳機能障害協議会事務局03-3408-3798へ

## 【2】関連団体の活動

\* \*

●「今年もやります！春の音コンサート！」主催：世田谷高次脳機能障害連絡協議会

2月2日(日)13:00～15:30 玉川区民会館大ホール

====春の音コンサートありがとうございました。今回弾いた二曲は、去年の春に高次脳機能障害がいくらか良くなってからピアノを再開して以来、もう人前で何度も演奏している曲だったのですが、今回のように不特定多数の方の前でステージに登って演奏するのは初めてで、前の日まで細かい演奏の手直しを続けましたがまあこれまで演奏してきた中では会心の出来でした。今の私にとって人前でピアノを弾く機会はとても貴重で、ピアノ演奏はリハビリというよりは新しいことへの挑戦ですので、またチャンスがありましたら弾かせていただきたいと思います。改めて今回ご努力いただいた皆様によろしくお伝えください。====(出演者・関根)

●「言語生活サポートセンター開設記念講演会 & シンポジウム」

3月1日(土)13:30～16:30、荻窪タウンセブン8階、講演会終了後、サポートセンターの見学会

講師：長谷川 幹(三軒茶屋リハビリテーションクリニック院長・脳損傷ケアリングコミュニティ学会代表)

山本 弘子(都立府中療育センター 言語聴覚士)

平沢 哲哉(フリー言語聴覚士、在宅言語聴覚士)

沼尾 ひろ子(TVナレーター、脳梗塞患者と家族のための自立支援の会代表)

==== 会場は満員、熱気むんむんの講演会 & シンポジウムでした。長谷川先生の奥様の脳梗塞から失語症を発症なさった経緯や、自分の能力の一寸上をめざしてリハビリすることが効果的等々や、高次脳機能障害についての有意義な解説。言語聴覚士の山本先生の多くの失語症の方々やそのご家族を支援してきたお話。平沢先生の交通事故で失語症を患いながら、努力で言語聴覚士になられ、訪問リハをなさっておられるお話。沼尾先生の脳梗塞で倒れ失語症になり、TV ナレーターに復帰するまでのお話など、ユニークな内容

が続き、楽しい講演会でした。今ではすっかり良くなられた沼尾先生の司会兼コーディネーターで進みましたが、沼尾先生の滑舌の見事さにはびっくりでした。失語症の方は、巣症状なので、判断力や思考力は変わらない方が多いとのこと。失語症はリハビリの効果が如実にでる障害と思いました。藺田尚美代表がご自分で(株)言語生活サポートセンターを開設なさり、息子さんも事務長として手伝うとか。他にも多くのサポーターと共に運営なさいます。言語生活サポートセンターのご発展をお祈り申し上げます。==== (細見みゑ)

○高次脳機能障害講演会(主催:交通事故被害者家族ネットワーク)

3月9日(日)13:30~17:00 東京シティーエアターミナル1階(地下鉄半蔵門線・水天宮駅直結)

①「高次脳機能障害講演館」中村俊規氏(表参道こころのクリニック院長)

②「高次脳機能障害認定の法律上の問題と裁判の方向」古田兼裕氏(弁護士)

③交通事故に詳しい弁護士による「無料法律相談会」協力:交通事故弁護士全国ネットワーク(要予約)

④首都圏の家族会合同による高次脳機能障害意見交換会

入場無料、問合せ:080-3154-2748(上田)

○第22回ドリームサロン ~高次脳機能障害を、知ろう、語ろう、もっと身近に~

3月15日(土)午後1時~4時30分(開場12時30分)

高次脳機能障がい者活動センター 調布ドリーム(京王線飛田給駅南口 徒歩1分)

第1部 講演「あきらめない回復支援」和田敏子氏(世田谷ボランティア協会高次脳機能障害相談員)

第2部 当事者と共に語り合おう

申込は Fax:042-444-3068 メール:[info@chofudream.com](mailto:info@chofudream.com)

○講演会 「低酸素脳症・高次脳機能障がいについて」

3月23日(日) 10:00~12:00 調布市総合福祉センター 201~203室

講師:先崎章氏(精神科医)

杜のハーモニー♪ 主催 調布市社会福祉協議会 共催

申込み・問合せ:ドルチェ Tel:042-490-6675 Fax:042-481-5115

(懇親会 12時~ 調布市総合福祉センター)

### 【3】行政等の活動

\* \*

<平成25年度港区高次脳機能障害理解促進事業>(TKKへの委託事業、協力:みなと高次脳)

●第3回:2月8日(土) 港区高輪区民センター

講演1「高次脳機能障害 当事者とその家族への支援について~様々な事例から~」

上田 敏氏(元東大医学部教授/高次脳機能障害名付け親)

講演2「家族の声~高次脳機能障害者支援~親亡き後の願い」

「いちごえ会」増村 幸子代表

医療&家族相談交流会

相談支援員 上田敏(医師)、増村幸子(家族)、石川洋平(精神保健福祉士)、池田敦子(社会福祉士)

==== 夕方には猛吹雪という悪天候の中でしたが、席は満たされ、参加していただいた方々のご期待に答えられたのではないかと思います。上田敏先生の、高次脳機能障害について分かり易い解説、様々な相談事例の紹介は、さすが、精神神経科医師らしい慈愛に満ちた丁寧な対応に、大変勉強になりました。増村幸子様のご講演は、母親の願いを込めたものでした。増村様のご人徳もあるのでしょうか、その思いに呼応するように、医療者、セラピスト、議員さん、大学関係者、他多種多様な方々がボランティアとして協力し、素晴らしい、高次脳機能障害小金井友の会「いちごえ会」が運営されておられることに、感動いたしました。==== (細見みゑ)

#### ●「第3回北多摩南部医療圏高次脳機能障害地域支援研修会」

3月2日(日)、14:00～16:30 東京慈恵会医科大学医学部看護学科1階大講堂

講演1:「高次脳機能障害者およびご家族のための地域支援」

片桐伯真先生(聖隷三方原病院リハビリテーション科)

講演2:「高次脳機能障害に対するリハビリテーション～作業療法士の視点～」

横井安芸先生(東京慈恵会医科大学附属第二病院作業療法科)

講演3:「高次脳機能障害者に対する自動車運転支援」

高橋麻美先生(聖隷三方原病院リハビリテーション科)

==== いつも北多摩南部の研修会は、渡邊 修先生が中心になって、なかなかお聞きすることができない、東京圏域以外の高次脳機能障害に精通した先生や、リハビリに熱心に取り組んでおられる医療や福祉関係者をお招きして研修会を開催して下さるので、楽しみにしていました。静岡県浜松市の聖隷三方原病院リハビリ科の片桐先生のご講演は、静岡県内の高次脳機能障害支援普及制度の確立やネットワーク構築、家族会支援等々にご尽力くださっておられ、頭が下がる思いでした。作業療法士の横井先生のご講演は作業療法について様々な事例のご紹介でしたが、当事者の思いにより添って尽くしてらっしゃる様子が良く伝わりました。リハビリ科の高橋先生の自動車運転支援については、きめ細かい評価とシミュレーション等々で運転許可を与えているが、脳血管障害の場合、再発というリスクがあるので、現在の状態で許可したとしても、悩ましいところではあるとのことでした。==== (細見みゑ)

○町田市福祉講座「高次脳機能障害とは・・・」講演会

「高次脳機能障害とは～家族の思い～」細見みゑ(東京高次脳機能障害協議会理事長)

3月8日(土) 13:30～15:30 町田市役所本庁舎3階 第3-1会議室

#### 【4】特集:この1年の活動を振り返って

ここでは、TKK 加盟の25団体(平成25年7月現在)のうち3団体ずつを順次ご紹介しています。

vol.25号では「なんてんの会」、「みなと高次脳」、「調布ドリーム」。

Vol.26号では「フォーラム大田高次脳」、「猫のひげ」、「ハイリハ東京」をご紹介しました。

「NPO 法人 みんなのセンター おむすび」理事長:加藤 勉

## ■安心して暮らし続けられる地域づくりと「おむすび」の役割■

平成 25 年 5 月 26 日「第 102 回いたばしボランティア・市民活動フォーラム」が開催された。

NHK スペシャルで昨年放送された「“死者 32 万人の衝撃”巨大地震から命をどう守るか」を素材に地域で助け合うしくみづくりを学びあった。講師の東京大学準教授加藤孝明氏の話は実に示唆に富んでいた。特に印象に残った言葉として「行政要求型の終焉」と「住民先行・行政の後追い」がある。「要求型の終焉」については、ここまで言い切っているのかとの考えはあるものの、ここ数年確かに行政関係者また区議の多くが、財政の厳しさを理由に、様々な要望に応えられない事を言う。

加藤氏はこの「要求型の終焉」につなげて「住民先行・行政の後追い」に論及、現状を打破する在り方のひとつとして指し示してくれた。

私も多くの仲間と 40 年余り板橋で福祉活動を続けてきた。その中であって福祉に関わる理念を守りながらも、それを基に要求するだけでは課題解決が図れない現況にあることを実感している。であるなら、どうするのか。大変だが「住民(当事者)先行」で頑張ることが私たちに課せられた課題に思える。

ではどの様に取り組むのか。例えば先行している他の自治体の事例に学び、私たち自身が協力して事例を作っていく。しかし、おむすびの利用者、家族をはじめ地域の中には頑張りたくても力を出せない人も多くいる。

この事をしっかり感じとり、大変な人に寄り添いながら運動を進めていくのが「NPO 法人おむすび」の役割である事を、ここで再度共有したいと思う。

加えて「みんなのセンター おむすび」は板橋区地域自立支援協議会・高次脳機能障がい部会の事務局として活動し、関係者連絡会の要として支援の輪を広げている事もご報告します。

### 高次脳機能障害者小金井友の会「いちごえ会」 代表：増村 幸子

“1 年を振り返って“

いちごえ会は 高次脳機能障害者小金井友の会の愛称で、名前の由来は次の通りです。

- ①高次脳機能障害者には多くの困難があり、ひとつ一つともに助け合って乗り越えます。
- ②最初の一声がなかなか出ません。その一声を優しく待ちます。
- ③「こんにちわ」と一声かけます。
- ④一期一会、今日の出会いを大切に、相手に寄り添います。

社協、上田敏先生、友人に呼びかけ、2012 年 7 月 1 日いちごえ会を設立しました。設立当初から多方面からお困りの方や問い合わせが多く、責任の重さを実感しています。

活動は次の通りです。

#### ①講演会 3 回

上田敏先生、橋本圭司先生、渡邊修先生、東川悦子脳外傷友の会理事長を講師にお願いしました。

#### ②相談会

上田敏先生は相談者の悩みを医療のみならず、当事者や家族、介護従事者と十分な話し合いで問題を浮き彫りにし、解決の糸口を明示され、多くの方が希望と勇気を与えられています。

#### ③交流会

当事者と家族の話し合いと歌やゲームで楽しみました。

#### ④会報発行 年3～4回 イベントの予告や報告

今年2月8日港区主催TKK受託の「講演会及び医療&家族相談交流会」に上田敏先生の講演と増村幸子が家族の思いを発表しました。記録的な豪雪にもめげず、多くの出席者でした。

昨年6月小金井市内のリハビリテーション連絡会(療法士会)ノーマライゼーション小金井(介護施設の団体)いちごえ会の3者で「地域で共に生きる」と題して合同講演会を市民交流センターにて開催、500人以上の方が参加されました。

中央大学心理学教室緑川ゼミの学生と交流が始まり、今年1月に中央大学に招待され、高次脳機能障害への理解と支援を楽しみながら求めることができ、非常に有意義でした。

次期重点目標は交流会を当事者が自主運営できるように運営委員会の機能を充実させることです。小金井市へは高次脳機能障害者への理解と支援をさらに求めます。

#### 高次脳機能障害者の会「メビウスのWA」 副代表：橋本紀子

この1年を振り返って

メビウスのWAは、高次脳機能障害者とその家族の会です。

昨年12月には会の大きな節目として、立川市の障害者作業所「キッチンさかえ」のレストランをお借りし、内輪ながら「10周年記念祝賀会」を行いました。今回は準備から当日の進行まで、家族だけでなく当事者も積極的にに関わり、当日は、当事者や家族の楽しいパフォーマンスで笑ったり涙ぐんだりしました。また、今までの活動を『10年のあゆみ』として小冊子にまとめ、会場内にこれまでの行事や講演会などの活動を記録した写真も展示しました。

当事者の方からは、「今後も20年、30年と年を重ね、会を続けていきたいと思います…」という声も聞かれ、「継続は力なり」と皆で確認し、仲間との絆と支えてくれる方々への感謝の気持で有意義な時間を過ごすことができました。

他団体との交流と障害の啓発を目的として、5年前より参加している秋の障害者まつりでの模擬店の出店も今年は充実しておりました。これまでは販売する商品を作る家族が中心に進められ、当事者は包装や売り子の手伝いだけで盛り上がりにかけていましたが、今回は春よりSTの方々が関わってくださったことで、当事者による絵手紙や写真販売するなどアイデアも広がりました。おまつりの売上金を12月の食事会(祝賀会)の補助金に充てるという明確な目的も加わり、当日は暴風雨の悪天候でしたが休む人もなく大いに盛り上がりしました。

今後も、STの方から力を借り、当事者の長所や得意なことを活かして自己表現出来るような接し方を学び、あくまでも主役は当事者、家族は伴走者となり活動をしていきたいと思っております。

以上